

歩きたくなるまちづくりの今後の進め方について

中野区基本構想が掲げる「つながる はじまる なかの」の実現に向けては、区民が日常生活において自然に屋外の公共的空間で過ごせる環境を整えることで、多様な人の関わりや新たな活動が生まれる基盤を形成する必要がある。

このための方向性を示した「（仮称）歩きたくなるまちづくり構想（以下「構想」という。）」をこのたび策定することとした。

また、この構想を具体化させる取組の進め方についても現在検討中であり、その概要についても併せて報告する。

1. 構想の策定について

公共的空間の整備や活用については、庁内各部はもちろん多様な立場の主体と調整・連携を十分に行ったうえ、幅広く区民から意見を募り、令和8年度末を目途に策定することとする。

・庁内

都市基盤部、まちづくり推進部などのハード整備部門に限らず、ソフト部門とも幅広く連携し、横断的な取組につなげる。

・庁外

交通管理者（警察）、民間施設管理者、商店会等との意見交換を行い、道路交通空間や民間空間の活用可能性を検討する。

・区民意見の反映

歩きたくなるまちづくりをテーマとしたセミナーや意見交換会、パブリック・コメントを実施することで、区民の理解促進と意見反映を図る。

2. 事例集の作成

構想の策定とともに、区内外の「歩きたくなるまちづくり」の先進事例や実験をまとめた事例集を作成する。

この事例集は、新たなまちづくりや道路・公園等の基盤整備・改修等の際、そこに示された数々の成功例や、そこに表された「まちなか空間のつくりと使い方の視点」を関係者の間で共通認識を得るためのコミュニケーションツールとして活用する。

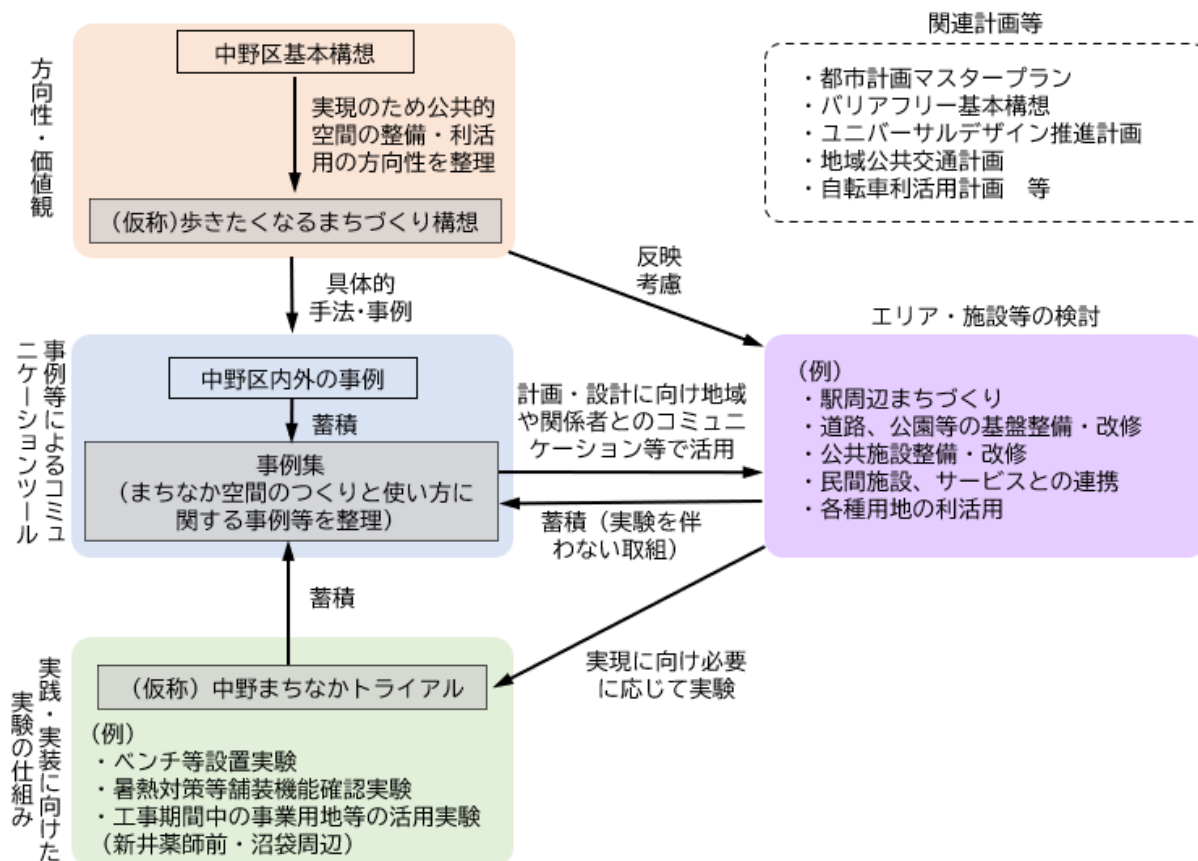
事例集は、構想の内容を踏まえて作成するとともに、以降も蓄積された取組例を逐次更新していくものとする。

3. (仮称) 中野まちなかトライアル

今後、区内の公共的空間等において「歩きたくなるまちづくり」の要素を含む新たな取組を試行的に実施する場合は、これを「(仮称) 中野まちなかトライアル」(以下「トライアル」という。)事業と銘打ち実施する。

トライアルは、社会実験の実施・検証・整理・共有を通じて、空間の使われ方や居心地に関する知見等を新たに得るものとし、前述した事例集に蓄積し、さらなる取組へと展開していく。

【進め方のイメージ】



4. 今後の予定

- | | | |
|------|-----|----------------------|
| 令和8年 | 11月 | 構想(素案)の作成 |
| | 12月 | 本件に関連するセミナーと意見交換会の実施 |
| 令和9年 | 1月 | 構想(案)の作成 |
| | 2月 | パブリック・コメントの実施 |
| | 3月 | 構想策定・事例集作成 |
| | | ～以降、トライアルの展開、事例集の更新 |